

丹沢山塊道志川牧馬沢（8/29 事故現場確認）山行報告

- (山 域) 丹沢山塊 道志川支流 牧馬沢
(コース) 青野原キャンプ場～牧馬沢遡行～F1～F4～左岸林道～国道～青野原キャンプ場
(日 時) 平成 29 年 9 月 24 日 (日)
(天 候) 晴れ
(参加者) CL 渡辺 (三) SL 花島 狩野 上茂 田中 (記録)
(山行タイム) 千葉 6 : 00⇒青野原キャンプ場 8 : 25☐入溪 8 : 40☐牧馬沢遡行☐遡行終了 12 : 35☐
林道 12 : 45☐県道 518 号線☐青野原キャンプ場 13 : 35⇒往路を帰還する。
(費 用) 高速代 5,440 円 ガソリン代 2,190 円 駐車場代 1,000 円
(山行報告) 今回の山行は 8 月 29 日に発生した牧馬沢沢登りにおける事故現場確認を目的に入溪した。
キャンプ場はキャンパーで賑わっていて、係員は見当たらず、しばし様子見で居たが、よ
うやく売店の女性が現れ駐車 500 円 + 1 人 100 円 = 合計 1000 円を支払い、車を停める。
キャンプ場から道志川を痛んで床にベニヤ張りの吊り橋を渡り 5 分ほどで牧馬沢大滝入口
の標識があり、ここから沢に入溪する。しばらく進むとすぐに 3m ナメ滝 (F1) が現れ左
岸から超える。滝の上に出ると間もなく F2 大滝 15m が左側から大きく落ちている。



【F1 サラサラ滝】



【F2 大滝】

F2 大滝の直登は無理で高巻となるが、F1 の近くまで戻り右岸の森林の中に辛うじて残る
踏み痕に導かれ大回りに足元の泥と小石の尾根・木の根っこなどの歩きづらいトレースを
進むと F3 (3 条の滝) 手前のゴルジュの上に出て、ここから安全策をとり懸垂で下降し
沢床に下りた。



【大滝の高巻入口】

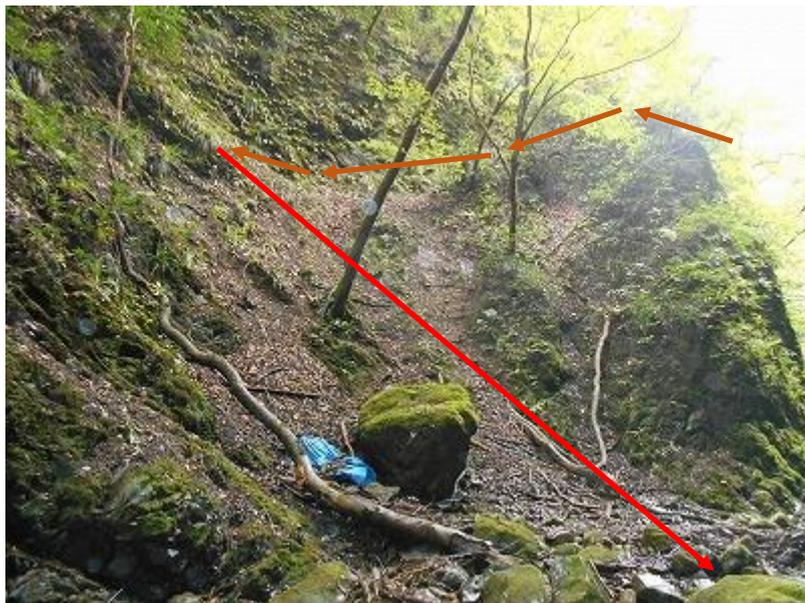


【ゴルジュの手前に懸垂下降をする。】

爽快なゴルジュをしばらく進むと間もなく今回の調査対象である事故現場の岩場の下に出た。



【爽快なゴルジュ付近 上：この先が事故現場 下】



9/26 事故者本人写真確認による【行動ルート→と滑落方向→】

ここで現場を確認して写真撮影をするが、ここの上部から（岩場の上は15m～20m）でどこからどう落ちたかは不明のまま、なお沢床を進むとF3（3条の滝）の前に飛び出す。ここでも写真を撮り後日に事故者本人に確認してこの付近の行動詳細を確認することにゆだね。帰途につくが、いずれにしろF3を右岸から高巻して滝の上に出て、そこからしばらく沢筋を遡行し、その上の10mを越えたあたりから左岸上部に10分くらいで林道に出る。林道で軽チェックの後に国道伝いにキャンプ場に帰り着く。



【KAM と CL の救助待ち付近：F3 の下流】



【ヘリピックアップ地点の三条の滝と頭上空間】



【キャンプ場風景】

今回の沢での高巻は全行程を通して高巻ルート of 足元の悪さでは、参加のメンバー皆が驚くばかりであった。

泥の壁・細かなグズグズの壁・落ち葉で滑る斜面・木の根っこなど悪いところが、たくさん

見られ、沢自体は1級上でも高巻の悪さと蛭の多さ・沢水の汚れを考えると沢登り対象としては、いささか疑問の残る沢であった。



【ロープを使い緊張の高巻を行く】

なお) 【事故現場確認と事故者との確認で判ったこと詳細】は別の報告で出します。